

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 18 号

第 18 週 (4月27日 ~ 5月3日)

発行年月日:平成21年(2009年) 5月11日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

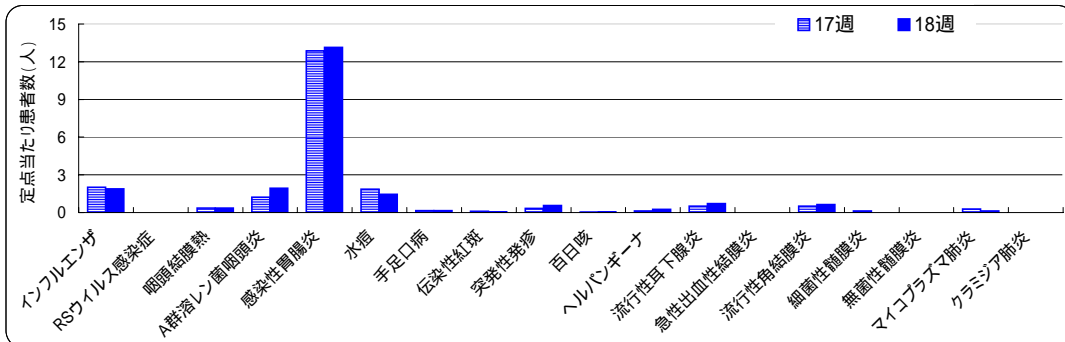
国内で初めて、新型インフルエンザの感染を確認
感染性胃腸炎は、引き続き東近江で急増

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりやや多くなっています。特に、感染性胃腸炎については県全体では先週とほぼ同様の発生状況ですが、東近江では先週よりさらに増加し、定点当たり患者数が32.60と非常に多くなっています。今後の発生状況に十分な注意が必要です。他の疾患の詳細については、疾病別・保健所管内別発生状況および疾病別定点当たり患者数のグラフを参照してください。

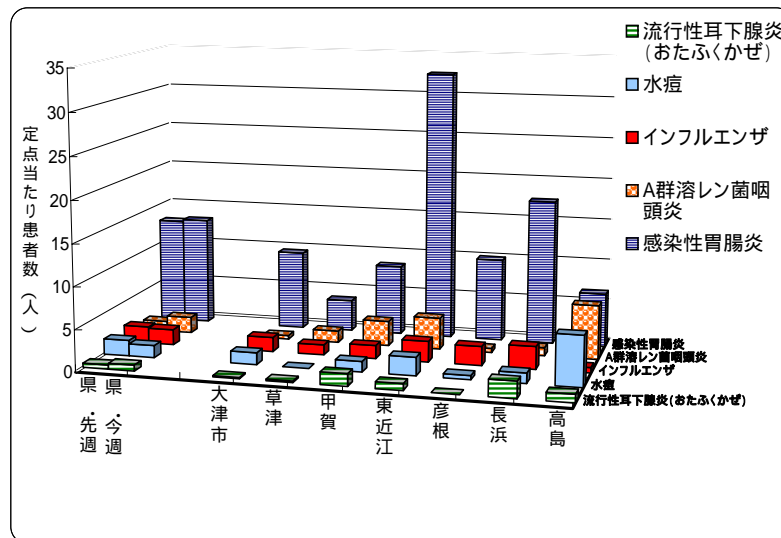
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、感染性胃腸炎では東近江で先週に引き続き警報発生基準値を、水痘では高島で注意報発生基準値を超えています。また、第18週から咽頭結膜熱(プール熱)およびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎において、警報ならびに注意報の発生基準値が改訂されました(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第18週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は甲賀で先週よりかなり減少していますが、東近江では先週よりさらに増加しています。A群溶レン菌咽頭炎および水痘は高島で急増しています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)情報

新型インフルエンザ発生状況(WHO情報)

新型インフルエンザ情報(厚生労働省)

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (18週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (18週)	全国 (18週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	1	102	8,346	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	61	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	310	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	15	0	43
	A型肝炎	0	0	30	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	22	2	104
	マラリア	0	0	22	1	56
	レジオネラ症	0	1	199	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	4	286	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	73	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	37	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	43	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	2	486	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	28	1	76
	梅毒	0	0	238	5	839
	破傷風	0	1	21	5	123
	急性脳炎	0	0	84	1	190
	風しん	0	2	67	2	309
	麻しん	0	0	301	39	11,015

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第18週(4/27～5/3) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 301例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 14例	細菌性赤痢 4例	腸チフス 1例	四類感染症: A型肝炎 2例	デング熱 2例	マラリア 1例	四類感染症: つつが虫病 2例	オウム病 1例	Q熱 1例	日本紅斑熱 1例	レジオネラ症 6例	五類感染症: アメーバ赤痢 5例	梅毒 4例	風しん 1例	麻しん 19例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 8例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例	急性脳炎 1例	ウイルス性肝炎 1例
-------------	----------------	------------------------	----------	---------	----------------	---------	---------	-----------------	---------	-------	----------	-----------	------------------	-------	--------	---------	----------------------	------------------	--------------------	-------------	---------	------------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

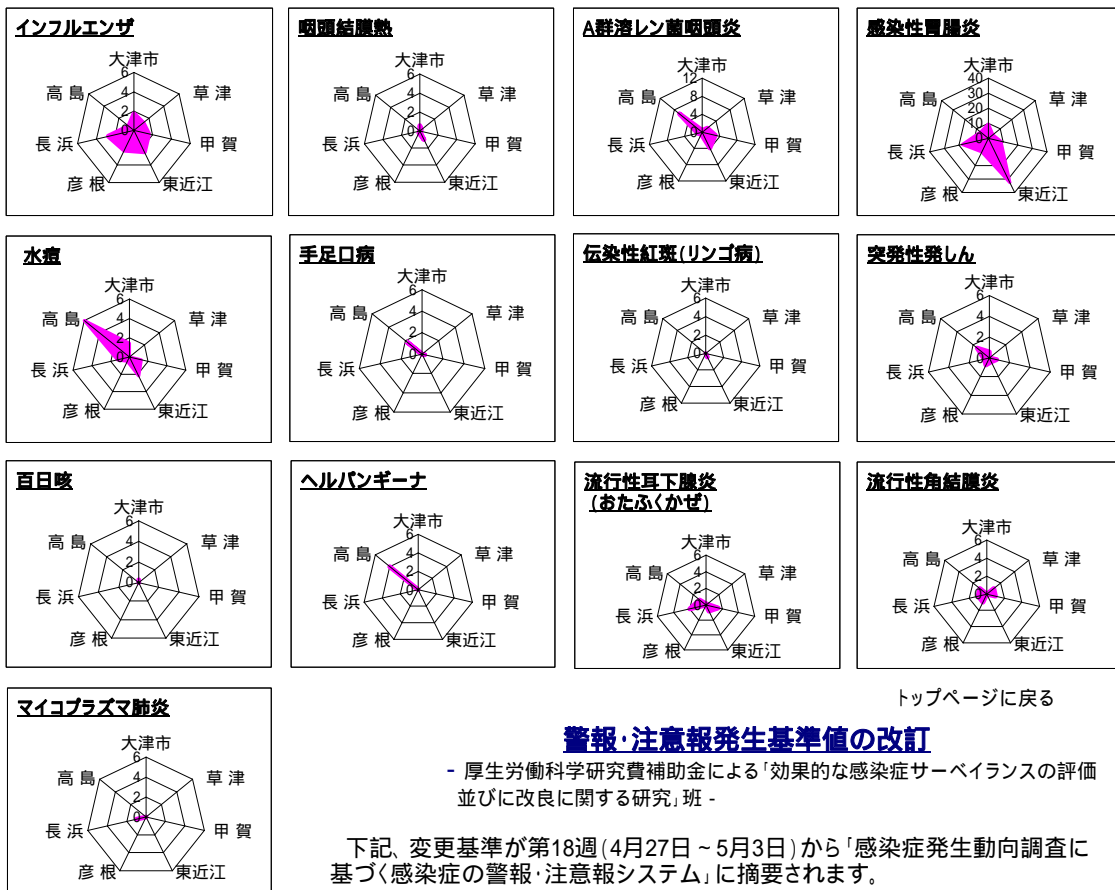
(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第13～18週、3/23～5/3)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	13週	14週	15週	16週	17週	18週	週				
	(3/23～)	(3/30～)	(4/6～)	(4/13～)	(4/20～)	(4/27～)	14	15	16	17	18
インフルエンザ	6.78	3.88	1.56	2.31	2.02	1.88					
RSウイルス感染症	0.15	0	0.06	0	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.12	0.55	0.23	0.23	0.35	0.35					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.26	0.61	1.10	1.23	1.94					
感染性胃腸炎	9.61	9.65	12.87	12.90	12.87	13.13					
水痘	1.67	1.32	1.65	1.19	1.87	1.45					
手足口病	0.18	0	0.13	0.10	0.16	0.16					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.03	0	0.19	0.10	0.06					
突発性発しん	0.45	0.13	0.29	0.45	0.32	0.55					
百日咳	0.03	0	0.03	0	0.03	0.06					
ヘルパンギーナ	0.03	0.16	0.16	0.13	0.13	0.26					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.67	0.29	0.74	0.71	0.52	0.71					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0	0.25	0.25	0	0.50	0.63					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0	0.29	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.88	1.73	1.22	1.57	2.50	2.29	2.71	0.67	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.57	0.20	0	1.00	0.25	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.94	0.43	1.40	3.00	3.80	0.50	1.00	6.50	
感染性胃腸炎	13.13	9.57	3.80	8.50	32.60	10.00	17.75	6.50	
水痘	1.45	1.43	0	1.25	2.20	0.50	1.25	6.00	
手足口病	0.16	0	0	0.25	0	0	0	2.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0	
突発性発しん	0.55	0.57	0	0.75	0.40	0.75	0.50	1.50	
百日咳	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.26	0	0	0	0	0	0	4.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.71	0.14	0.20	1.50	0.80	0	2.00	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.63	0	1.00	1.00	0	1.00	1.00	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 3 6 9 12 15

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



トップページに戻る

警報・注意報発生基準値の改訂

- 厚生労働科学研究費補助金による「効果的な感染症サーベイランスの評価並びに改良に関する研究」班 -

下記、変更基準が第18週(4月27日～5月3日)から「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」に摘要されます。

変更対象疾患	警報の開始基準値 (定点当たり患者数、人)	警報の終息基準値 (定点当たり患者数、人)
咽頭結膜熱(プール熱)	2.00 → 3.00	0.10 → 1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00 → 8.00	2.00 → 4.00

(3)今週の発生状況

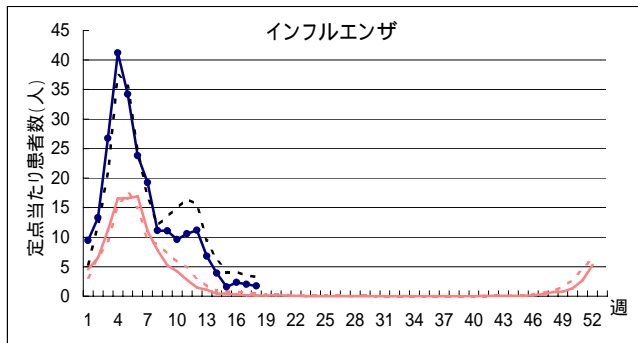
滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第18週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
感染性胃腸炎	13.13	9.57	3.80	8.50	32.60	10.00	17.75	6.50	20.00	12.00	-
水痘	1.45	1.43	0	1.25	2.20	0.50	1.25	6.00	7.00	4.00	4.00

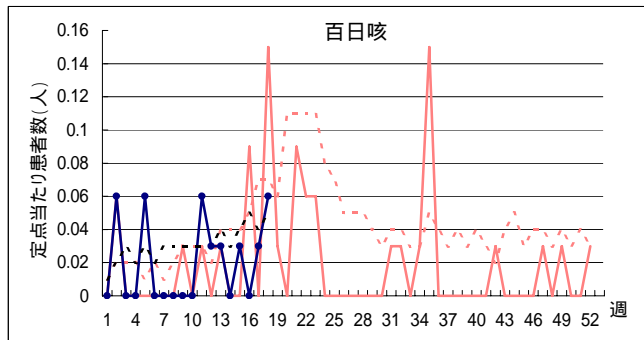
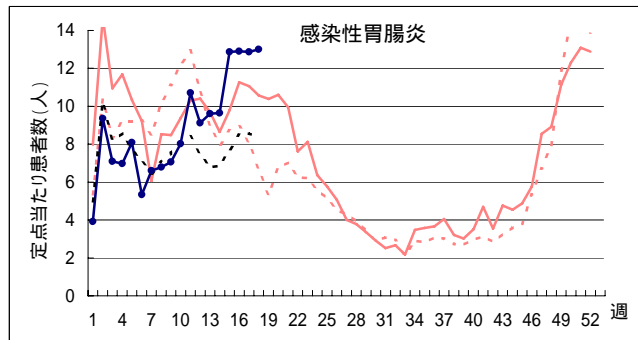
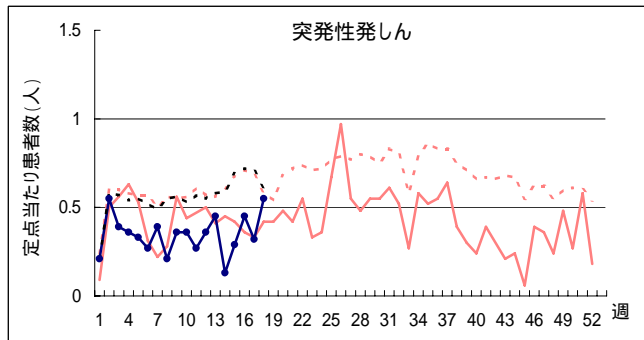
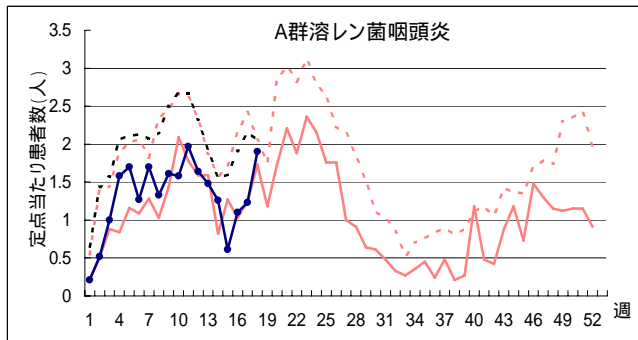
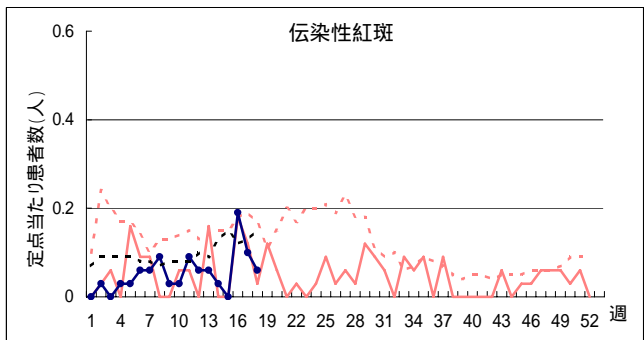
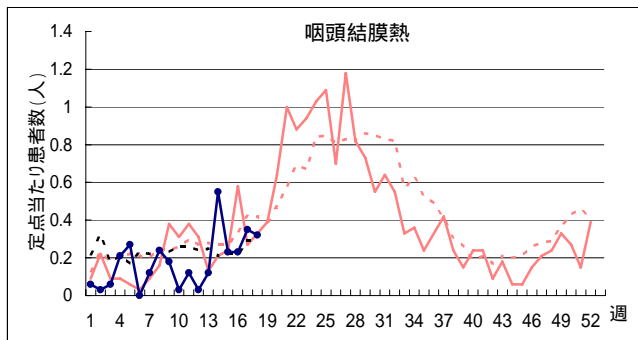
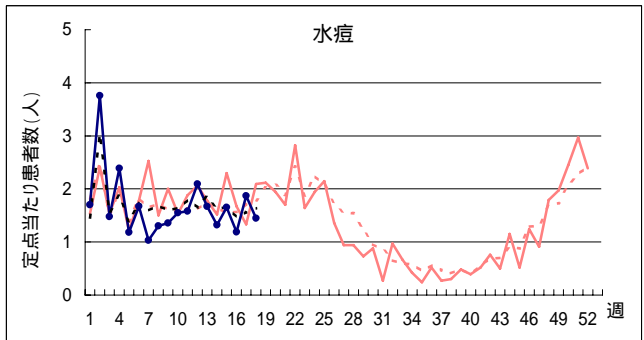
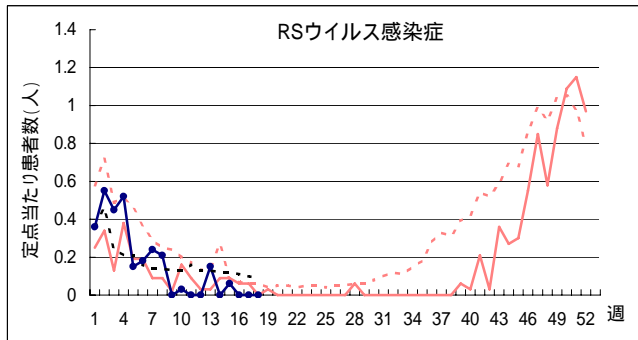
* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

★ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。
 ★ : 注意報発生基準値を超えています。

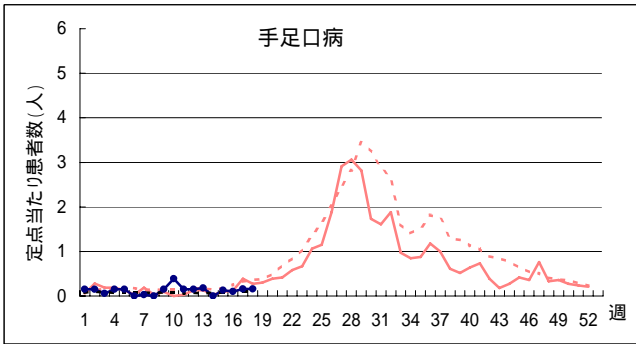
疾病別定点当たり患者数(平成21年第18週、H19.12.29~H21.5.3)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第18週、H19.12.29~H21.5.3)



H20
 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dashed red line)
 H21
 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)

